



ニッポン・ニュー・マーケット - 「ヘラクレス」

平成 19 年 5 月 16 日

各 位

東京都中央区日本橋室町三丁目 2 番 15 号  
日本橋室町センタービル 11 階  
マルマン株式会社 (コード番号: 7834)  
代表取締役 島貫 慶太  
問合せ先 経営管理部長 金子 嘉徳  
電話番号 03 - 3272 - 9402

## 平成 19 年 9 月期 中間業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記の理由をもちまして、平成 18 年 11 月 24 日付「平成 18 年 9 月期決算短信 (連結)」および同日付当社「平成 18 年 9 月期個別財務諸表の概要」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正しますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 修正の理由

当社の主力事業であるゴルフ用品関連事業におきましては、メーカー間の新製品ラッシュによる競争の激化、平成 20 年 1 月に施行されるゴルフクラブの反発係数に関するルール改正に伴う消費者の買い控え等厳しい状況が続いております。

下半期に当社の主力ブランドの中の一つである「マジェスティ」のモデルチェンジを計画しておりましたこと、および「高反発規制」による買い控えを深刻なものと予測しておりましたことから、この期間を徹底した市場の流通在庫の浄化期間ととらえ、当社からの卸先である小売店店頭からのユーザーへの販売活動、つまり流通在庫の削減に注力しました。当初予定の販売見込を下回る見通しとなったのはそのためです。また原価サイドにおきましても、生産数量が減少しております関係で製造原価の上昇を招き、収益を圧迫する結果となりました。

今期、新たに設立した子会社の販売が、海外部門を中心に当初見込みを上回ったため、個別の業績は子会社に対する販売を計上して売上高、経常利益とも表面上上昇しました。しかしながら本来の販売先である国内小売店への売上が減少したため、ゴルフ部門の連結では売上高、経常利益とも当初見込みを下回る見通しとなりました。

また、健康食品関連事業につきましては、健康をテーマとした人気テレビ番組の捏造問題の影響も大きく、健康食品業界全体として厳しい状況下であり、大型のヒット商品がなかったことから当初予定の販売見込を大幅に下回る見通しとなっております。

返品会計処理につきまして、従来は返品発生時に売上高から控除する方式によっておりましたが、返品見込額に対する販売利益の見込額を返品調整引当金として149百万円特別損失に計上することといたしました。この結果、従来の方法に比べて、中間純利益が75百万円減少する見通しとなっております。

## 2. 平成19年9月期 中間業績予想の修正

### (1) 連結

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	4,100	10	6
今回修正(B)	3,838	65	127
増減額(B-A)	262	75	133
増減率(%)	6.4	-	-

### (2) 個別

(単位：百万円、%)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	2,100	200	125
今回修正(B)	2,867	164	170
増減額(B-A)	767	36	45
増減率(%)	36.5	-	-

## 3. 平成19年9月期 通期業績予想および配当予想

当社グループの主力事業であるゴルフ用品関連事業におきまして、海外向け販売が順調に推移しておりますこと、国内向け販売につきましては当初予定通り流通在庫の整理が進んでおりますこと、および下期の販売開始を予定しておりました「マジスティ」について高い評判を得ており、かつ生産が順調に推移しておりますことに鑑み、通期業績予想および配当予想につきましての修正はありません。

なお、平成19年9月期中間決算短信(連結・個別)につきましては、5月18日を予定しております。

以上

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報および将来の業績に与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる可能性があります。